

早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業について

早良南部地域活性化事業実行委員会

1. 事業の背景と目的

平成 30 年度は事業初年度であり、地域ワークショップ・意見交換及びその結果を踏まえた事業者ヒアリング等により、新たな交流促進を実現するためのプログラムとしての「地域づくりプラン」について取りまとめを行った（参考資料①：平成 30 年度事業概要版）。そして、市街化調整区域の土地利用規制やその規制緩和を踏まえつつ、地域の様々な資源を活用し、地域の住民や校区内事業者と都市部の事業者が連携することによって、この「地域づくりプラン」の実現可能性や地域活性化への波及効果が高まることを確認した。



地域ワークショップ

2 年目となる令和元年度においては、とりまとめた「地域づくりプラン」の試行・検証を目的とする。その試行するプラン（以下、試行プログラム）の実施に向けては、平成 30 年度にワークショップやヒアリングで協議した地域住民・団体や事業者を中心に継続的な対話を行いながら、企画内容や関係者の役割分担を検討していくこととする。また、その企画内容や役割分担は、将来的に事業主体となる組織や体制の構築、及び持続的な事業化への展開を見据えたものとして検討を進める。さらに、試行プログラムの成果については、市街化調整区域の土地利用の規制緩和に関わる新制度の活用も意識しながら、都市と農村の交流の事例集として取りまとめ、新たな活用を推進するための周知・広報へと展開するものとする



事業者ヒアリング

●平成 30 年度の成果を踏まえて、想定する試行プログラムの例

①「農・食」をテーマとしたプログラム

- ・都市部事業者との連携による農体験や遊休地の有効活用（顧客サービス・福利厚生・企業 CSR 等における農体験の取組づくり）
- ・地域産材を活用した農作物や加工品のブランド開発
- ・農作物における付加価値づくりや新しい作物の栽培



農体験

②「アウトドア・健康」をテーマとしたプログラム

- ・事業者主催ウォーキングイベントの開発とイベント時の地域 PR 活動
- ・アウトドアの魅力を PR するイベントの開発
- ・曲淵小学校を活用した取組づくり



ウォーキングイベント

③既存イベントの活性化プログラム

- ・事業者連携による地域集客イベントの活性化

④店舗に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

- ・事業者向け意見交換会の開催

⑤住居に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

- ・規制緩和制度の活用に向けた地域部会の設置と空き家・空地の情報収集
- ・地域運営のゲストハウス検討部会



空家の情報収集

2. 共働のきっかけと必要性

①共働のきっかけ

早良南部3校区（脇山・内野・曲淵）は、背振山系に囲まれた自然や清流を活かした豊かな農地が広がり、また、特徴的な歴史・文化を有する地域である。そして、それらを活かした多彩なイベントや特産品が魅力となっており、都市部へのアクセスも良好な場所となっている。これまで、早良区と各校区によって構成されるまちづくり組織「早良みなみ塾」の取組みにより、地域資源を活かすための活動が推進されてきた。一方で、少子高齢化や人口減少が進み、今後の「交流人口の増加」、「自然・農村の魅力の活用」、「地域・事業者との共働の体制・仕組みづくり」が重要な課題となっている。



さわらの秋

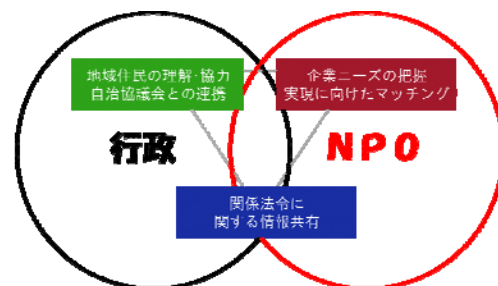
そこで本事業では、持続可能な早良南部地域の新しいまちづくりにむけた共働の体制づくりや持続性・実効性の高い事業構築を目標とし、魅力ある地域資源や既存ストックの活用策を、地域内外の様々な市民や団体・事業者等と共に検討することとした。活用策の検討は、市や地域の取組と連動し、市街化調整区域の規制緩和に関する新制度の運用を見据えながら、進めていくこととする。



早良みなみマルシェ

②共働の必要性及び役割分担

2年目となる本年度は、昨年度検討した「地域づくりプラン」の試行・検証を、地域と事業者との連携によって進めていく。その試行・検証を進めるにあたっては、プログラムの企画や運営、実施体制づくりに関わる地域住民及び団体・事業者間の調整、周知・啓発や行政手続きなど、幅広い対応が必要となる。



主にNPOとしては地域・事業者連携によるイベント実施や合意形成に関わるノウハウを、市としては地域等への周知や庁内調整等のノウハウを活用し、試行しながら成果をとりまとめることで、実効性の高い事業の実現に向けた取組みとして、効果的に地域内外への意識付けを行うことができる。具体的な役割分担は以下の通りである。

<NPOの役割>

- ・地域及び都市側（各種団体や事業者等）のニーズを踏まえた、地域の魅力資源や既存ストックの活用拡大に向けた新しいまちづくりの取組の継続的な検討
- ・校区外事業者や地域住民とのマッチングによる試行プログラムの実施
- ・市街化調整区域の新制度を活用した、校区外事業者等の受け入れのための地域の合意形成の仕組みづくり

<福岡市の役割>

- ・地域（校区住民、自治協議会、公民館、町内会）との連絡・調整
- ・試行プログラムの実施や新制度活用に向けた庁内調整及び行政手続き
- ・市街化調整区域の開発規制緩和策等の新制度に関する周知啓発

3. 事業目標

本事業の事業目標及び成果指標は以下の通りである。

事業目標1 試行プログラムの実施によるまちづくりプランの検証

地域と事業者が連携した試行プログラムを実施し、継続性や地域活性化への波及効果などの検証を行い、まちづくりプランの見直しを図る。

事業目標2 新たな事業者ニーズの取りまとめとプランづくり

事業者ニーズの把握を継続的にを行い、地域とのマッチングを目指した新しい活用のプランを行う。

事業目標3 地域内における周知啓発

地域における既存のイベントや都市部の集客施設等において、制度や取組周知に向けた広報活動を行う。また実施した試行プログラムを事例集としてとりまとめ、周知・啓発ツールとして活用を図る。

成果指標として昨年度設定した①ワークショップへの参加者数、②アンケートを実施した事業者数、③ヒアリングを実施した事業者数、④試行プログラムの実施数に加えて、今年度は⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数、⑥新たに連携した事業者数を追加した。

<成果指標>

成果指標	目標値		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①ワークショップへの参加者数	120	120	120
②アンケートを実施した事業者数	30	40	50
③ヒアリングを実施した事業者数	5	10	15
④試行プログラムの実施数 ※	0	2	6
⑤イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数	-	3	5
⑥新たに連携した事業者数	-	4	8

※平成30年度事業で把握した地域ニーズを踏まえ、空き家や遊休地といった既存ストックの活用のみならず、交流人口の拡大の視点で広く実施することとした

また、事業目標の実現に向けた事業内容及び実施フローは以下の通りである。

事業内容① 試行プログラムの運用による取組・体制づくり

平成 30 年度の成果を踏まえ、地域住民・団体・事業者が連携する取組みを試行する。

事業内容② 事業者マッチングに向けた意向調査

平成 30 年度にできたネットワークの質を高めていくため、継続して意向調査を実施する。

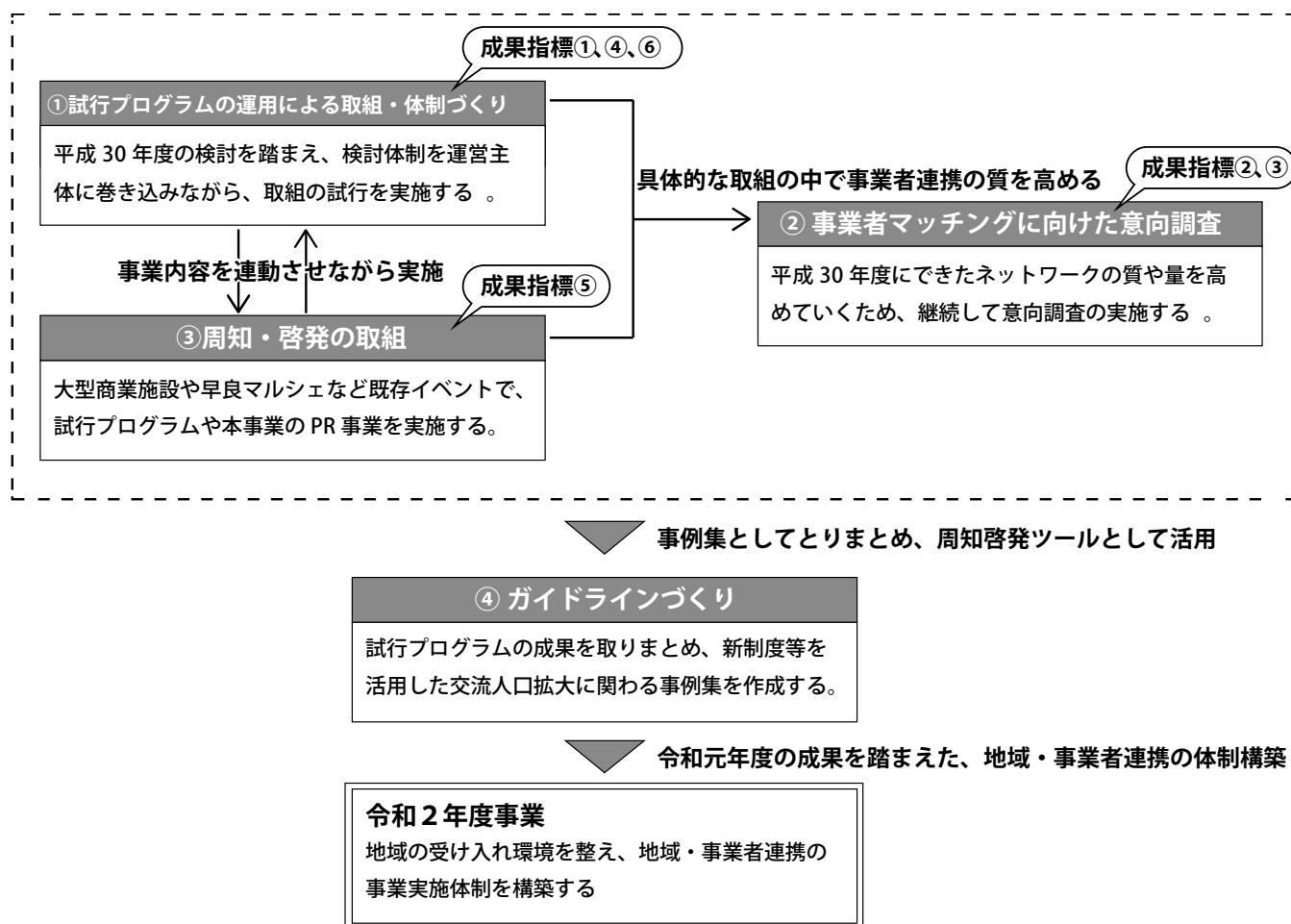
事業内容③ 周知・啓発の取組

大型商業施設での集客イベントや早良マルシェなどの地域イベントで、試行プログラムや本事業の PR を行う。

事業内容④ ガイドラインづくり

試行プログラムの成果を、新制度等を活用した交流人口の拡大に向けた取組みの事例集としてとりまとめる。

実施フロー



4. 事業内容

事業内容① 試行プログラムの運用による取組・体制づくり

平成 30 年度の成果を踏まえ、地域住民・団体・事業者が連携する取組みを試行する。ここでは、昨年度の成果を踏まえて設定したテーマ毎の部会（農・食、アウトドア・自然、既存の取組みとの連携）により進めていくものとする。

■農・食をテーマとしたプログラムの実施状況

試行プログラム 1 「近隣大型商業施設による脇山茶の茶摘み・茶もみ体験」

試行プログラム 2 「近隣大型商業施設による紅茶づくり体験」

地域の連携主体：脇山校区の若手農家の団体

実施事業者：近隣大型商業施設の管理運営者（事業者 A）

事前協議の概要

協議日程：2月12日※、6月17日 ※実施は昨年度だが、今年度の事業内容の協議

参加者：脇山校区の若手農家の団体 1 名 事業者 A 3 名 実行委員会 3 名



事業者ヒアリングの様子

団体	事業者 A の意見	脇山校区の若手農家の団体の意見
事業に対する意向	- 春先のイベントで親子向けの新たな体験型イベントを実施してみたい。 - イベントの告知、参加者の募集や受付、また当日の誘導等に関しては、事業者 A 側で行う予定である。 - 地域貢献事業の一環としての目的もあるため、農作物等の地域資源は積極的に P R してほしい。また、当日の直売等も行してほしい。	- 自分たちが運営している農体験プログラムに、5 月上旬に実施している茶摘み・茶もみ体験や 7 月中旬に実施している紅茶づくり体験がある - イベント参加人数を増やしたい一方で、運営人数に限りがあるため、協力してもらえると助かる。 - 参加者が来てくれるのであれば、脇山校区の紹介や自分たちが生産しているお米や紅茶、ジェラート等の 2 次製品を P R をしたい。
事業の進め方	- 実施日に関しては 5 月の GW は施設が繁忙となるため、避けたい。 - 参加者の費用は、事業者 A のサービスとして実施するため、事業者 A より直接支払いを行う。 - 施設内で体験できるプログラムを検討してみたい。	- 茶葉の適期としては 5 月上旬であるため、調整が必要である。 - 紅茶づくりに関しては 7 月中旬であるため、今後調整したい。 - 初めての試みであるため、資材や事前準備、当日運営などを含めて、費用を検討したい。 - 紅茶づくり体験は、前日から準備できれば施設内での実施は可能である。

実施の結果

試行プログラム1「近隣大型商業施設による脇山茶の茶摘み・茶もみ体験」

実施日：5月17日 ※悪天候による直前の中止 実施場所：脇山公民館

運営手法：事業者Aのスタッフが今後の顧客サービスでの実施に向けて試行的に参加

試行プログラム2「近隣大型商業施設による紅茶づくり体験」

実施日：7月21日

実施場所：事業者Aの管理する商業施設

参加人数：16組 24名参加

実施費用：¥65,000（材料代・人件費等 事業者Aより若手農家の団体へ支払い）

運営手法（役割分担）

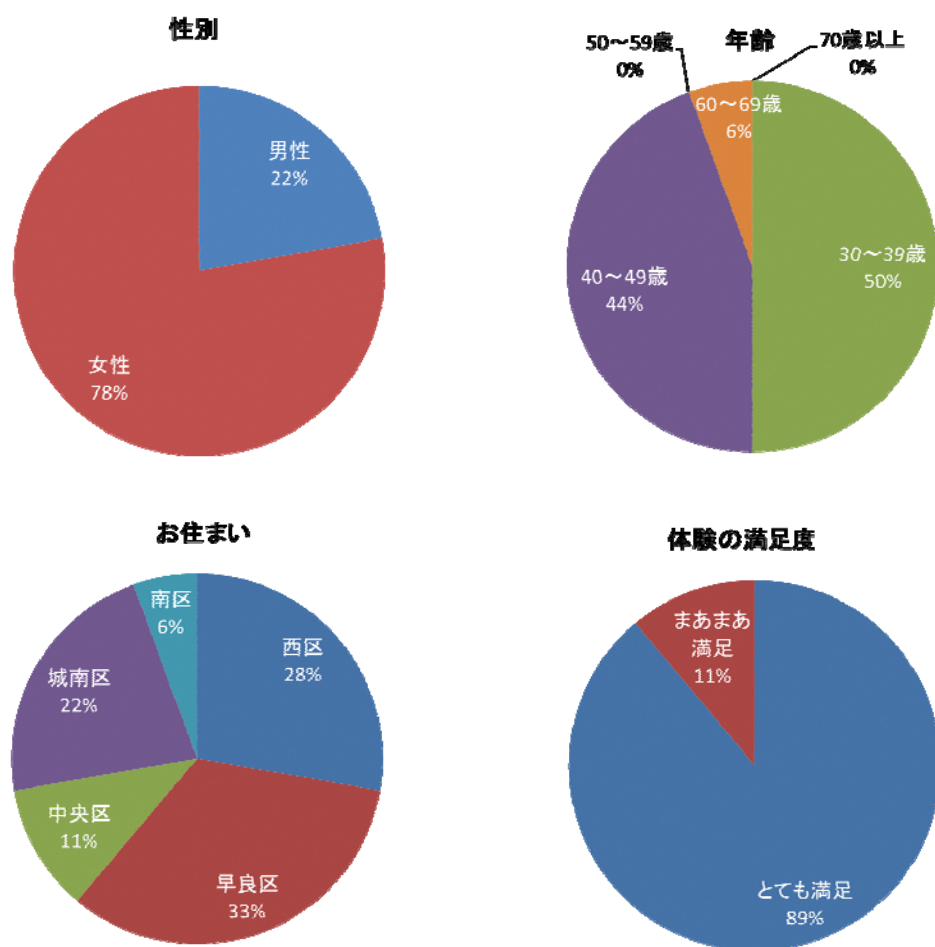
	内容	担当主体	内容
事前準備	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整 ・費用等の交渉
	②イベント告知	事業者A	・施設内でのイベント案内の掲示 ・SNS（Line）による登録者への通知
	③受付・案内	事業者A	・実施1週間前に施設内で直接の受付
	④実施日までの連絡	事業者A	・天候等による延期や実施場所の連絡通知等 等を電話で行う
	⑤準備物の購入	若手農家の団体	・出張での紅茶づくり体験に向けた新規での 購入資材等
	⑥茶葉の準備	若手農家の団体	・参加人数分の事前の茶摘み作業
当日運営	⑦参加者受付	事業者A	・当日参加者の受付
	⑧イベント主旨の説明	実行委員会	・共働事業の説明
	⑨体験内容等の説明	若手農家の団体 補助：実行委員会	・脇山校区や生産物に関する説明 ・体験内容の説明（実演）
	⑩振り返り・アンケート	実行委員会	・体験の満足度等に関するアンケート



紅茶づくり体験の様子

参加者へのアンケート（参考資料②：紅茶づくり体験アンケート）で確認された満足度や意見は以下の通りである。

参加者属性・満足度



アンケートから確認できた内容

- 30代、40代の親子参加が9割以上を占めており、事業者Aの要望であった、親子向けの体験推として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- 今回の体験参加を通じて、脇山校区や脇山の生産物への興味が高まり、脇山校区への来訪のきっかけづくりとなる可能性があることが確認できた。
- 製品のみを提供するのではなく、参加者自身の手で作っていくプロセスを体験させることで、子供への教育や楽しみを高める効果があることが確認できた。

〈参考〉参加者の意見（抜粋）

○印象に残っていること

- ・子供に売られている状態ではなく、作り手のおもいや、物にかける情熱、労力を伝えてもらえることができ嬉しかったです。
- ・福岡市内で紅茶が作られていること。
- ・緑の葉から茶色の紅茶ができること、葉から紅茶の香りがしたことに驚きました。
- ・脇山でお茶を作っているということを知らなかったので、発見でした。
- ・身近に紅茶の産地があって驚いた。
- ・茶葉をもんでいる時から香りがすることを初めて知りました。発酵した後に、すぐ紅茶の香りがして、煎っている間も良い香りでした。
- ・緑の茶葉がこのような工程を経て紅茶になっていくのか、というおもしろさ
- ・手作りだと、人によって仕上がりが変わるのが楽しい。茶葉は同じでも緑茶や紅茶になるのは知っていたが、やるのとでは違い楽しかった。
- ・手間暇かけて造られていると感じました。いい香りで今度から紅茶も含め、商品を頂くときに気持ちが違ってくと思いました。

○良かったこと（悪かったこと）

- ・なぜ、紅茶をつくっているのか、これまでどうで、これからどうしたいのか、親として教えられないことを沢山教えていただけて良かったです。
- ・子ども達に体験させることができた。手作りの大変さを実感した。
- ・親子で茶もみをしっかり楽しめたのが良かった。
- ・大雨だったので来るのが大変だった。家族が体験することができて楽しかった。
- ・紅茶が出来上がる過程がよく分かって良かったです。
- ・緑の茶葉がこのような工程を経て紅茶になっていくのか、というおもしろさ
- ・こどもが集中して茶葉をもんでくれた事です。
- ・説明が丁寧で分かりやすく、とても参考になりました。
- ・基本全て、自分で最後まで出来たことが良い。満足感。子供も参加が最初から分かっていたので、少し小さな軍手があってもいい。
- ・なかなか体験できないこと、お話を伺えて有意義で楽しい時間でした。

○スタッフへのメッセージ

- ・行ったことないので、脇山にもいってみようと思いました。
- ・とても分かりやすいご指導ありがとうございました。脇山の道の駅へも行ってみたいと思います。
- ・紅茶づくりの背景など、脇山のことを知ることができて良かったです。
- ・また開催してほしいです。
- ・夏休みの研究の題材になりました。ありがとうございました。
- ・紅茶が出来上がる過程がよく分かって良かったです。
- ・お米もおいしくてワッキーへ時々かいに行きます。次はお茶にもトライしてみます。
- ・また、参加したいので毎年してほしいです。
- ・いろいろな工夫やご努力をされて良いものを作られようとするお気持ちが伝わりました。いろいろなことを教えて下さりありがとうございました。

試行プログラム3「近隣大型商業施設での産直市」

地域の連携主体：脇山校区の若手農家の団体

実施事業者：近隣大型商業施設の管理運営事業者（事業者A）

事前協議の概要

協議日程：2月12日※、4月17日 ※実施は昨年度だが、今年度の事業内容の協議

参加者：脇山校区の若手農家の団体1名 事業者A3名 実行委員会3名

団体	事業者Aの意見	脇山校区の若手農家の団体の意見
事業に対する意向	施設内のスーパー等と連携しながら、施設全体での産直イベントを運営したいと考えている	産直イベントであれば、南部地域で活躍している農家同士で出店することができると思う
	施設内の広場スペースでの実施を想定しているが、5店舗程度の受け入れはできると思う。	共同での出店で5団体程度は声が欠けられるため、調整を図ってみる。
事業の進め方	実施日に関しては9月～10月ごろが良いと思っているがどうか。	農作物の出荷状況から考えると10月下旬以降が良いと思う。最もよい時期を調整してみる。

実施予定の内容

実施日：11月上旬で調整

実施場所：事業者Aの管理する商業施設

参加人数：不特定多数（来館者）



商業施設での産直市のイメージ

■アウトドア・健康をテーマとしたプログラムの実施状況

試行プログラム4「アウトドアブランド・公益財団法人と連携した初心者向けアウトドア講習会」

地域の連携主体：脇山野営場の所有者（公益財団法人）、脇山校区の若手農家の団体

実施事業者：全国に店舗展開するアウトドアブランド（事業者B）

事前協議の概要

協議日程：5月24日、6月7日、7月31日

参加者：公益財団法人3名 事業者B1名 実行委員会3名



団体	事業者Bの意見	公益財団法人の意見
事業に対する意向	福岡市内にはキャンプ場が不足しており、顧客に気軽に紹介できる場所がない。この脇山野営場が活用できると、様々なイベントの運営ができる。	団体の活動をPRする必要性を感じており、アウトドア関連の事業者と連携して、脇山野営場のような拠点活用を図っていきたいと考えている。
	商品を購入した顧客に向けて、キャンプサイトを紹介していきたい。将来的に市内でのアクセスが良い脇山野営場を活用できれば良いと思う。	一般に向けて開放していきたいという考えはあるが、利用ルールの設定や施設管理場の課題がまだある。法人内で活用していける仕組みを協議していこうと思う。
	野遊びをテーマに参加者には体験してもらいたいと思っており、連携できれば良いと思う。	手押し井戸ポンプや薪割り等、活用できる施設は使ってもらって良い。また、自分たちの活動をPRできるような体験をぜひ連携したい。
	店舗が所在する大型商業施設内のアウトドアアパレル同士の懇親会等で使うことはできるか？	事業者の方へのPRの意味もあり、ぜひ使ってほしい。
事業の進め方	10月～11月で実施日を調整したい。	10月中旬までは活動日で埋まっているので、10月下旬以降で調整したい。
	何か連携してできるプログラムがあれば連携したい。	昔ながらのキャンプ設営の仕方を実演するプログラム等がある。協議しながら、考えてみたい。
	女性専用トイレがあると参加者が快適だと思う。	屋外トイレを男性用、管理棟施設内のトイレを女性用で分けると良い。

実施予定の内容

実施日：10月26日（土）

実施場所：脇山野営場

参加人数：10組

参加費：¥500（保険代等）

※プログラムの中で、脇山産の緑茶や紅茶の試飲及び農作物の販売等を実施予定



10/26
14:00～
日帰り



snow peak
outdoor lifestyle created since 1958



Scouting
Fukuoka
日本ボーイスカウト
福岡県連盟

キャンプ初心者向け！ スノーピークスタッフによる アウトドア講習会 in 脇山野営場



脇山野営場前



キャンプ初心者の方向けに、ポールとシートだけで設営できるタープの使い方や、焚火台等の使い方を実演します。また、日本ボーイスカウト福岡県連盟によるアウトドア体験もあります。普段は体験できないプログラム満載の日帰りで楽しめるイベントです。

■会場：日本ボーイスカウト福岡県連盟脇山野営場(脇山1780-2)
西鉄バス「脇山野営場前」バス停すぐ ※駐車場あり

■時間：14時～18時頃

■募集人数：10組

■参加費：500円(傷害保険料など)

■申込方法：スノーピークマークイズももち店に、以下の項目をメールで送るか、お電話で直接お申込ください。
※定員となり次第締め切りとさせていただきます。
[メール]kai@snowpeak.co.jp ☎092-407-9205

●氏名(漢字、フリガナ) ●電話番号 ●性別
●生年月日 ●身長 ●緊急連絡先番号

試行プログラム4「自転車メーカーと連携した初心者向けサイクリングツアー」

地域の連携主体：早良南部地域の飲食店

実施事業者：全国に店舗展開する自転車メーカー（事業者C）

事前協議の概要

協議日程：5月24日、6月27日

参加者：事業者C 1名 実行委員会2名 早良区役所 1名



団体	事業者Bの意見	実行委員会の連携
事業に対する意向	早良南部は、自然や食が豊かでサイクリストにとっては魅力的な場所である。災害の影響で通行できない道があるが、復旧されるとサイクリストは増えると思う。	実行委員会の方で、自然や食の資源をリストアップする。その配置を踏まえたサイクリングコースの検討ができると良い。
	現在は、女性を主なターゲットとしてサイクリストを増やしていきたいと思っている。女性も参加しやすい初心者向けのイベントや、地域の食も一緒に楽しめるツアー等が良いと思う。	プログラムの実施に向けては、事前に協力してくれる地域の飲食店と調整を図っておく。
	早良南部地域はアップダウンがあり、通常は経験者向けだと思う。ただ、E-bike（電動自転車）であれば気軽に山道も行けるイベントが実施できるので、これまでにない楽しみ方を提供できるかもしれない。	区の事業で脇山には自転車ラックを数か所設置している。サイクリストを増やしていくためにも、協力していきたい。
	地域の食や自然を楽しめる立ち寄りスポットを掲載するような、サイクリングマップ作りなどは、協力できる。	サイクリングマップ自体の作成は実行委員会で可能であるため、おすすめのコース設定をお願いしたい。
事業の進め方	涼しくなる10～11月ごろのイベント実施が良いと思う。	秋ごろであれば、区の広報誌「さわらの秋」で告知ができる。
	初心者向けのイベントとして、女性も参加しやすいものが良い。新しく女性向けのE-bike（電動自転車）も販売されたので、その試乗も兼ねたものができると思う。	「さわらの秋」に掲載する上で、女性も参加しやすい内容でPRできると良い。
	パン屋や軽食屋など、地域の飲食店と協力できると良い。	実行委員会で調整する。

実施予定の内容

実施日：11月9日（土）

実施場所：百道浜～室見川河川敷～脇山～曲刈

参加人数：10人

参加費：¥500（保険代等）（別途飲食¥2,000程度自己負担）

11/9土
10:00～


GIANT STORE

E-bikeでいく！秋のさわら満喫ライド

医師会館・ソフトリサーチパーク前



初心者、女性大歓迎！ジャイアント最新のE-bike（電動アシスト自転車）に乗って、室見川河川敷や曲淵水源地の紅葉といった自然、早良南部の美味しい食事など、早良区の魅力を満喫します。

自転車の楽しみ方を体感したい方、自然の中をゆったりと自転車で走りたい方、一人では遠くまで走る自信がない方、そんな方にお勧めのイベントです。

気軽に長距離やアップダウンのコースを走る、新しい自転車の楽しみ方が体験できます。

■集合：ジャイアントストア福岡店（早良区百道浜1-3-70）
※駐車場あり

■募集人数：10人

■参加費：500円 ※別途飲食費2,000円程度ご準備ください。

■申込方法：以下の項目をメールにて送るか、お電話で直接お申込ください。
※定員となり次第締め切りとさせていただきます。
[メール]fukuoka@giant-store.jp
☎092-833-3355



●氏名（漢字、フリガナ） ●電話番号 ●性別
●生年月日 ●身長 ●緊急連絡先番号

13

試行プログラム5「登山ショップと連携した登山プログラム」

実施事業者：様々な登山イベントを実施する福岡市の登山用品店（事業者D）

事前協議の概要

協議日程：6月6日、8月2日

参加者：事業者C 1名 実行委員会2名 早良区役所 1名

団体	事業者Bの意見	実行委員会の連携
事業の進め方	・背振山系は福岡市内でも有数の魅力的な登山スポットで、登山イベントを今後も行っていきたい。	・自然や健康をテーマとする今年度の区広報誌での掲載など、既存のイベントを盛り上げるようにしたい。
	・公共交通の便の悪さは課題であるので、イベントスケジュールの工夫等が必要である。	・集合場所の調整等、協力できることがあれば対応する。
	・参加者の保険対応などで協力してもらえると助かる。	・実行委員会に対応できる。

実施予定の内容

実施日：10月27日（日）、11月4日（月）

実施場所：脇山・曲淵周辺

参加人数：各日20人

参加費：¥500（保険代等）

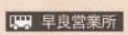
さわらの秋（参考資料③：さわらの秋P1～2「さわらの自然を楽しもう！」）への掲載記事

10/27日
11/4月



ネイチャースクール

あなたも山歩きで健康と感動を味わいませんか？

 早良営業所



紅葉が色づき始めた脊振山系をインストラクターが案内します。金山や脊振山の秋色の稜線に広がるブナ林など、美しい眺望が広がる行程で、自然の中で健康と感動を体験できます。

①10/27(日)
矢筈谷(やはずだに)～脊振山～椎原峠コース
(約6時間のコース)

②11/4(月・祝)
花乱の滝～滝川谷～金山～小爪峠コース
(約6時間半のコース)

■集合：早良営業所バス停 前
■集合時間：7時30分 ■募集人数：各回20人
■参加費：500円(傷害保険料など)
■申込方法：ラリーグラス 大名店へ来店にてお申し込み下さい。
ラリーグラス 大名店(中央区大名2-2-46)
☎092-712-8909

以上のプログラム以外にも、下記に示したものの実施を検討している。

■既存イベントの活性化プログラム

9月～10月にかけて、地域イベントの事務局と意見交換を行う。



早良みなみマルシェ



クリスマスイルミネーション

■店舗に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

10月に、各店舗との意見交換を行う。



曲淵周辺のそば屋



地域の産物を使ったレストラン

■住居に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

11月に、地域代表者との意見交換を行う。



空き家等の活用に向けた意見交換

事業内容② 事業者マッチングに向けた意向調査

実施状況

事業内容②を進める中で、事業者との協議を継続している。

各事業者との意見交換の結果を以下に整理した。

事業者A

団体の概要：近隣の大型商業施設を管理運営する事業者

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	企業ファンの獲得や地域貢献の一環で行っている、顧客サービスの農体験を継続・拡大していきたい
事業の内容に関する印象	・地域の農作物の収穫体験や農地での定期的な栽培体験は、顧客サービス事業として行うと非常に需要が高いイベントとなる。 ・商業施設の集客イベントに地域の店舗が出店してもらえると魅力あるプログラムになる。特に、地域の名物となっている食品があると来館者が喜ぶ。
地域に対する印象や期待	・地域の特産品が収穫できたり、近くでおみやげに買って帰ることができる場所があると、参加者満足度が高くなる。 ・親子向けのサービスが展開出来ていけると良い。 ・現地で体験できるプログラムと、商業施設内でも体験できるプログラムの両方が検討できていけると良い。
事業者の課題等	・顧客サービスの取組みに関しては、それ自体には事業性が無いため、実施規模や時期が年度によって異なってしまう場合がある。
取組みへの参画可能性	・農家と連携した農体験プログラム 例) 顧客サービスや福利厚生として実施する農地での収穫体験や栽培体験 ・校区内店舗と連携した地域PRイベント 例) 大型商業施設での集客イベントの際の地域PRイベント（平成31年5月の実施を検討）
試行プログラム実施後の意見	・親子向けの新たな体験型サービスのコンテンツが増えて良かった。今後も継続を検討したい。 ・商業施設内での体験（紅茶づくり体験）が実施できたため、次回は現地での農体験を検討したい。 ・商業施設内の物販と協力しながら、施設全体での産直イベントを連携して実施できると良い。



事業者B

団体の概要：全国に店舗展開するアウトドアブランドショップ。店舗運営だけではなく、老朽化したキャンプ場の再生やリニューアル、管理運営を手掛けており、アウトドアに関連する様々なイベントも実施している

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	人間と自然が豊かに触れあえる自然志向のライフスタイルを提案し、実現することを目指している。非常に質の高い商品と、アウトドアによる五感を通じた体験を様々な事業を通じて提供している
事業の内容に関する印象	・ 脇山校区の主基米をはじめとする農作物や田園風景といった資源は、アウトドアやキャンプとの相性が非常に良い。 ・ 曲淵にある野河内溪谷や小川での水遊びは、キャンプとの相性が非常に良い。 ・ 店舗が早良区にあることもあり、顧客向けのイベントサービスを実施する際に、南部地域はフィールドとして活用しやすい距離圏にある。
地域に対する印象や期待	・ アウトドアやキャンプイベントを実施する際に、地域の資源を活かした体験型のコンテンツと連携できると良い。 ・ 脇山野営場は、店舗の顧客に向けた利用方法として、初心者向けアウトドア講習会の他にも、本格的なキャンプ経験者向けにも魅力的な場所だと思う。 ・ 店舗が所在する大型商業施設内の、アウトドアアパレル等同士の交流会等にも脇山野営場を使ってみたい。
事業者の課題等	・ 福岡市内には市民のニーズに応えられるほど、キャンプ場が整備されていない。今回の実施場所（脇山野営場）が将来的にそのようなニーズに応えることができると良い。 ・ アウトドアへの入門編のイベントとして、日帰り圏内での焚火プログラムを検討したいが、火を扱える場所が限られてしまう。
取組みへの参画可能性	・ 脇山中央公園や曲淵小学校のようなイベント等で活用可能性のある資源を利用して、顧客向けの日帰りアウトドア体験のプログラムを実施する可能性はある。 ・ 地域の人と協力した農体験等とセットで行うことができるとなると良い。



事業者C

団体の概要：全国に店舗展開する自転車メーカー。自転車及び部品・付属品の製造や販売のみならず、サイクリング文化の拡大を目指し、各店舗でサイクリングイベントを定期的に行っている

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	自転車を販売するだけでなく、自転車に乗ること自体を広げていきたい。そのためにも、自転車の楽しさを広げるイベントを展開しており、その場所も探している。会社としては今後店舗を増やしていく計画がある。また、九州や四国を数泊で1周するような旅行業も、関連会社と連携して実現させたい
事業の内容に関する印象	・早良南部地域は、サイクリストに人気のエリアであり、現在も多いと思う。 ・イベントを展開していく上で良い地域なので、連携できることはあると思う。
地域に対する印象や期待	・山間部であるため、MTB（マウンテンバイク）のフィールドとなると、MTB（マウンテンバイク）サイクリストは喜ぶ。 ・脇山周辺はサイクリストにとって自然や食が豊かで、アップダウンも十分にある魅力的なエリアである。資源を改めて発掘して、コースづくりができると良い。 ・災害の影響で一部通行止めの道路があったが、通行できるようになったので、今後またサイクリストが増えてくる可能性は高い。 ・現在のメインターゲットは女性を設定しており、女性の購買意欲を高めるようなイベントや商品PRができると良い。
事業者の課題等	・MTBサイクリストは、乗って楽しめる場所を探しているが、なかなか場所が見つからない。山林は個人の所有地も多く、現在は積極的に利用できない状況となっている。 ・自転車販売は約2年～3年前がピークであり、現在は伸び悩んでいる。特に、男性客が飽和状態になっていることから、女性顧客を増やしていきたいと考えている（女性は全体の1～2割）。また、電動付き自転車も流通させていきたい。
取組みへの参画可能性	・地域住民と協議、調整した上での山林を活用したマウンテンバイクのイベント実施やコースづくり（コース周辺の維持管理も含む） ・サイクルイベントの開催や企業向けのサイクルガイドサービス事業の検討



事業者D

団体の概要：背振山系も含む近隣での登山イベントを実施する登山・スキー用品の販売事業者

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	登山のファン化を深化させるため、背振を舞台に登山教室を毎年開催し、知識技術の習得を支援したい。
事業の内容に関する印象	・事業や個人での活動を問わず、登山イベントのフィールドとして背振山系は昔から利用してきた。背振山系の魅力をぜひ広げていきたい。 ・福岡は、全国でも有数の登山との関りが深い土地柄にあり、昔から登山に関わる人材や団体はある。 ・最近の登山のニーズとして若い世代が増えつつある。
地域に対する印象や期待	・背振山系は、福岡県の中でも有数の自然・植生が豊かな山地で、最も魅力的なフィールドといえる。 ・四季毎の自然の様々な魅力があるため、登山の上級者でも楽しめる。 ・公共交通の不便さやトイレのある駐車場といった拠点が少なく、イベントでの積極的な活用が難しい。
事業者の課題等	・登山教室等に一年を通じて参加し、登山のことを深く知っていく顧客を増やしたい。
取組みへの参画可能性	・地域や他の事業者等と連携して、アプローチ性の改善や離合集散の拠点づくりが進めば、積極的に登山イベントを展開していける。

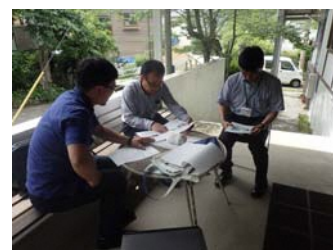


事業者E

団体の概要：169 か国の国と地域で野外活動を通じた青少年育成活動を行う公益財団法人

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	団体の会員が特に若い世代で減っている。法人の活動をもっと知ってもらいたいと考えており、そのためには法人が所有する野営場等を活用して、アウトドアメーカー等と連携したイベントを展開していく必要があると思っている。
事業の内容に関する印象	・法人として、アウトドアメーカー等と連携した取組みを進めなければならないと考えていた。そのため、一緒に連携にアイデアを考えていきたい。
地域に対する印象や期待	・脇山野営場は当法人が所有する施設であるが、年に数回程度しか活動できていない。今回の事業でのイベントをきっかけとして活用の可能性を広げるとともに、地域にも同時に知れてほしい。 ・これまでは団体の活動PRを十分に行っていなかったが、今後は積極的に取組みたいと考えている。その手法として、アウトドアメーカー等の事業者とつながりを持ちたいと思っていたところで、良いきっかけとなった。
事業者の課題等	・脇山野営場を一般の人でも利用していけるように仕組みを作っていかなければならない。
取組みへの参画可能性	・脇山野営場を活用したイベントがあれば積極的に連携していく。 ・法人のこれまでの活動内容を活かしたプログラムを提供できる機会があれば、積極的に参加したい。



事業者F

団体の概要：地域活性化に取り組む大手航空会社

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	地方活性化の取組みによって、地域の魅力が高まることは、そこを訪れる人が増えることにつながる。そして、自社の旅客事業と上手くマッチングできていけると良いと考えている。
事業の内容に関する印象	・団体Gと連携し、数年前から早良区でのツアー事業を進めている。南部地域にも魅力的な資源があるため、その資源を活かしたツアーが継続・発展していけると良いと考えている。
地域に対する印象や期待	・平成30年度に早良区・団体Gと連携して、曲淵ダムパークを目的地としたウォーキングツアーを実施した。参加者の評価も良く、継続してきたいと考えている。
事業者の課題等	・魅力的なツアーとして継続していくためには、しっかりとテーマ性を検討していかなければならない。昨年度は健康がテーマであったが、今後はその質を高めるのか、もしくは異なるもので進めるのか、登山などと合わせて行うか等。協議を継続していきたい。
取組みへの参画可能性	・昨年度に引き続いて、ツアープログラムを検討したい。連携できることがあれば、積極的に行っていきたい。



事業者G

団体の概要：様々なツアーパッケージを持ち、多くの世代から利用される旅行会社

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	地域の資源を発掘した、新しい魅力を体験できるツアープログラムを企画していきたい。
事業の内容に関する印象	・団体Fと連携し、数年前から早良区でのツアー事業を進めている。南部地域にも魅力的な資源があるため、その資源を活かしたツアーが継続・発展していけると良いと考えている。
地域に対する印象や期待	・平成30年度に早良区・団体Fと連携して、曲淵ダムパークを目的地としたウォーキングツアーを実施した。九州各地から予定通りの多くの参加者数が集まり、好評であった。今後も継続していきたい。
事業者の課題等	・リピーターも多い中で、内容が同じものを続けていっても、参加者は減っていくことになる。新しい資源の活用や異なるテーマのもの、より質の高い内容等、変化が必要になっていく。
取組みへの参画可能性	・昨年度に引き続いて、ツアープログラムを検討したい。連携できることがあれば、積極的に行っていきたい。



事業内容③ 周知啓発の取組み

早良南部地域の魅力や本事業の取組み内容を周知する場として、大型商業施設や地域イベント時、区の広報誌での掲載を実施・検討している。その状況は以下の通りである。

■近隣の大型商業施設でのPR活動

事業内容①試行プログラムの運用による取組・体制作りでの、「農・食をテーマとしたプログラム」
試行プログラム③：近隣大型商業施設での早良南部産直市で、早良南部地域及び本事業のPRブース設置を検討している。

■早良マルシェなど既存イベントでのPR活動

地域イベントの事務局と協議の上で、PRブースの設置等を検討する。

■区広報誌を活用したPR活動

事業内容①試行プログラムの運用による取組・体制作りでの、「アウトドア・健康をテーマとしたプログラム」の広報・募集を行う媒体として、区広報誌の「さわらの秋」を活用しており、各試行プログラムの掲載紙面に、本事業での取組みであることを記載している。

さわらの秋（参考資料③：さわらの秋P1－2「さわらの自然を楽しもう！」）への掲載記事

ネイチャースクール
あなたも山歩きで健康と感動を味わいませんか？

紅葉が色づき始めた脊振山系をインストラクターが案内します。金山や脊振山の秋色の稜線に広がるブナ林など、美しい眺望が広がる行程で、自然の中で健康と感動を体験できます。

①10/27(日)
矢筈谷(やはずだに)～脊振山～椎原峠コース
(約6時間のコース)

②11/4(月・祝)
花乱の滝～滝川谷～金山～小爪峠コース
(約6時間半のコース)

■集合：早良営業所バス停 前
■集合時間：7時30分 ■募集人数：各回20人
■参加費：500円(傷害保険料など)
■申込方法：ラリーグラス 大名店へ来店にてお申し込み下さい。
ラリーグラス 大名店(中央区大名2-2-46)
☎092-712-8909

※上記のイベントは、福岡市早良区と(特活)環境文化プロジェクト機構による福岡市共働事業提案制度「早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業」を通じて実施しています。

事業内容④ ガイドラインづくり

本事業のとりまとめとして、報告書および概要版に加えて、試行プログラムの成果を基に、早良南部の地域資源を活用した交流人口の拡大に向けた取組みの事例集を作成する。その事例集を地域で配布することで、地域住民等へ本事業の取組みを周知していく。

5. 事業の達成状況（8月末現在）

令和元年8月末時点での成果を以下に示す。また、事業を進めるにあたって、協議を行った日付・参加者・協議内容の一覧を参考資料④に示した。

＜成果指標＞

赤字：目標達成済みの項目 青字：年度末の達成の見込み

成果指標	達成状況						
	平成30年度		令和元年度			令和2年度	
	目標	実績	目標	実績 (8月末)	年度末 見込み	目標	実績
①ワークショップへの参加者数	120	60	120	84	134	120	-
②アンケートを実施した事業者数	30	18	40	18	50	50	-
③ヒアリングを実施した事業者数 (同社への複数回のヒアリングを含めた場合)	5	15 (20)	10	18 (26)	20 (32)	15	-
④試行プログラムの実施数 ※	0	0	2	2	7	6	-
⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数	0	0	3	2	3	5	-
⑥新たに連携した事業者数	0	0	4	4	6	8	-

※平成30年度事業で把握した地域ニーズを踏まえ、空き家や遊休地といった既存ストックの活用のみならず、交流人口の拡大の視点で広く実施することとした

①ワークショップへの参加回数

平成30年度の計画時は、幅広い地域住民参加によるワークショップ開催を予定していたが、地域との事前協議や勉強会等での地域住民との意見交換の結果、「事業連携の可能性が高い住民や地域団体と実効性の高い取組みを先行して進める」こととなったため、個別での意見交換会に重点を置いている。そのため、実績の数字は低くなっているが、より具体的な地域の要望や課題は抽出できている（参考資料①：平成30年度事業概要版）。また、試行プログラムへの参加者との意見交換やアンケートによる意見収集を行っている（紅茶づくり体験 24名）。

今後の活動

- ・連携可能性の高い地域住民へのヒアリングを継続していく。
- ・事業者とのマッチングによる事業を実現していくためには、地域と事業者間の調整を行う中間支援の仕組みや組織づくりが、地域住民より求められている。そこで、本年度の事業実績をもって、その構築のための意見交換会を次年度以降に進めていく。
- ・試行プログラムへの参加者との意見交換を実施する。



いろんなイベントが生まれてほしいけれど、信頼できる事業者に来てほしい

事業者の意見はいろいろと勉強になるから、これからも継続的に対話したい



②アンケートを実施した事業者数、③ヒアリングを実施した事業者数

より実行力を高めるため、具体的な連携可能性が高い事業者と直接意見交換を行うヒアリングを重視した。そのため、ヒアリングする事業者を予定数より増やし、具体的な活動の実施に向けて取組んでいる。

今後の活動

- ・今年度、試行プログラムを実施する事業者を中心に、より質の高いマッチング事業を検討しながら、新たな参画可能性のある事業者へのヒアリングを進めていく。
- ・校区内事業者との意見交換会や、本事業への参画に関するアンケート（参考資料⑤）を実施しておくことで、校区内外事業者が連携する取組を検討していく。
- ・事業者の求める地域資源を発掘・再発見し、事業への活用を進めていくためには、住民との直接的な対話の場が求められている。そこで、地域住民と事業者が継続的に協議を行っていく場づくりを次年度以降に進めていく。



早良南部地域
の特産物をいろいろと楽しめるイベ
ントを増やしていきたい

休校した学校
や公園、野営場等色々な場所でのアウ
トドイベントを試したい



④試行プログラムの実施数

令和元年8月末時点で実施できた試行プログラムとして、農・食をテーマとしたプログラムを2プログラム実施できている（P5～8）。茶摘み・茶もみ体験は実施が確定していたが、悪天候の急遽な中止のため、実施数として計上している）。また、今年度の実施予定として、農・食をテーマとしたプログラムが1プログラム（P9）、アウトドア・健康をテーマとしたプログラムが3プログラム（P10～14）の実施が確定しており、年度末時点で6プログラムの実施が見込まれる。

今後の活動

- ・予定している4つの試行プログラムに関して、地域・事業者協議での調整を継続する。
- ・試行プログラムへの参加事業者はいずれも次年度以降の継続を希望している。そこで、地域との継続的な協議を行う場づくりを進めていく必要がある。



女性向けのサ
イクリングは、地域の様々な食や自然
を楽しめるようにしたい

ここは事業者
や市民の人に活用して欲しいけど、ど
うしたら良いかわからない...



⑤地域イベントや事業者と連携し、取組みを周知した回数

アウトドア・健康をテーマとしたプログラムの広報・募集を行う媒体として、区広報誌「さわらの秋」への掲載が実施できた。また、農・食をテーマとしてプログラムの紅茶づくり体験の際に、参加者に向けた本事業の取組み周知を行った。

今後の活動

- ・近隣大型商業施設での早良南部産直市（農と食をテーマとしたプログラム）でのPR活動
- ・地域イベント（さわらマルシェ・クリスマスイルミネーション）等での周知に向けた、地域イベント事務局との協議



早良みなみマルシェ



クリスマスイルミネーション

⑥新たに連携した事業者数

試行プログラムを実施する主体となる事業者として、今年度は5者との連携ができている（団体A～E、P16～19）。また、昨年度に引き続き、F社及びG社（P20）と連携した、早良南部のウォーキングイベントの実施検討を行っている。

今後の活動

- ・連携した事業者との継続的な協議
- ・令和2年度以降の試行プログラムの拡大に向けた、新たな事業者との協議



ウォーキングイベントの継続



新たな事業者との連携

以上の成果から、地域及び事業者のニーズを踏まえた令和2年度以降の展開として、以下のものが考えられる。

地域・事業者ニーズを踏まえた令和2年度以降に必要な取組み

- ①試行プログラムの継続的な実施や拡大を図るための体制づくり
- ②交流人口拡大のための取組みを持続・発展させるための、地域住民・校区内外の事業者・実行委員会（NPO・福岡市）が継続的に協議を行う場づくり

6. 令和2年度への展開

令和2年度については、これまでの取組みを踏まえ、共働事業として試行や対話を継続しながら、早良南部地域における持続可能な体制（プラットフォーム）づくりを検討していく。ここでは、地域やNPOが校区住民と都市住民、事業者のニーズをマッチングする活動へと展開することを目指し、関係主体が連携しながら交流人口拡大に向けた施策を検討していく場としての協議会を立ち上げるなど、地域と共に検討を進めるものとする。

また、共働事業終了後は、検討・試行された、地域住民や新しい団体・企業等が連携する取組を、地域が主体となって実施できるようNPOが活動支援を行う。将来的には、新規事業を始め、移住・定住等に対する地域内外のニーズをマッチングさせる中間支援組織としての体制を目指していく。

■令和2年度の事業目標

- 都市部事業者や市民・地域との持続的な事業の構築
- 継続的な地域や事業者との対話を通じた協議会の体制検討
- 都市部への周知・啓発の取組み継続及び拡大

事業展開のイメージ

